高速フォトプリント・スキャナ　NS-P1S / SU

取扱説明書 Version 2.20

ドライバソフトウェア Version 2.2x

目次

はじめに
安全にお使いいただくために
複製禁止事項について

1 ドライバソフトウェアのインストール 7

2 フォトスキャナ（NS-P1S/SU）の概要 10

2.1 特長と仕様 10
2.2 読み取り写真原稿について 11
2.3 SCSI／USBケーブルについて 12
2.4 推奨動作PC環境について 13

3 各部の名称と働き 14

4 フォトスキャナ（NS-P1S/SU）の接続 15

4.1 SCSIインターフェースをお使いの場合 15
4.2 USBインターフェースをお使いの場合 18
4.3 輸送用固定レバーをロック解除位置に合わせます 18
4.4 フォトスキャナ（NS-P1S/SU）とPCの電源を入れます 18

5 操作 19

5.1 操作のながれ 19
5.2 スキャン手順 20
5.3 原稿のセット 31

6 日常のお手入れ（クリーニング） 33

6.1 外装カバーのクリーニング 33
6.2 読み取りガラス、ローラのクリーニング 33

7 トラブルシューティング 35

7.1 写真原稿が本装置内につまった場合 36
7.2 画像にモアレ（網目状の陰影）が生じる 38
7.3 エラーメッセージ 39

8 付録 41

はじめに

このたびは、高速フォトプリント・スキャナ　NS-P1S/SU 「以下、本装置」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本書は、本装置と、それに付属しているドライバソフトウェア Version 2.2x「以下、本ドライバソフト」の使用方法について説明しております。ご使用の際には、この説明書を必ずお読みください。

ご注意

- 本装置は、日本国内でのみ使用可能です。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容は、将来予告なしに変更する場合があります。
- 本書の内容は、万全を期して作成しておりますが、万一、ご不審な点や誤り、あるいは記載漏れなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
- 運用した結果の影響につきましては、上記4項にかかわらず、一切の責任を負いかねます。

商標について

- Windows、Windows 98/98SE、Windows Me、Windows XP、Windows 2000 は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。

お客様は、「本装置とプログラム」を自己または他人のために使用して、他人の著作権、肖像権、商標権、意匠権等の第三者の権利を侵害し、または日本国およびあらゆる国の法律に違反してはならないものとします。

安全にお使いいただくために

本装置を安全にお使いいただくために、本書では、取り扱い上注意を必要とするところに次のようなマークを用いて重要な事項を記載しています。それぞれのマークに次のような意味があります。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物理的損害が発生する恐れがある内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、スキャナ本体が損傷する可能性が想定される内容を示しています。

必ずお守りいただきたいこと（操作）、知っておいていただきたいことを記載しています。

安全上のご注意

⚠ 警告
煙が出たり、変な臭いや音がするなど異常状態の場合は、すぐにご使用を中止してください。 感電、火災の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。 お客様による修理は大変危険ですので、絶対にしないでください。
製品の分解や改造はしないでください。 思わぬけがや感電・火災の原因となります。
指定の電源以外でのご使用はしないでください。 指定以外の電源を使用すると、感電・火災の原因となります。
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。
破損した電源ケーブルを使用しないでください。 感電・火災の原因となります。
電源ケーブル、電源プラグの取り扱いには注意してください。 取り扱いを誤ると火災の原因となります。 取り扱いには、以下の点を守ってください。 • 電源ケーブルのたこ足配線はしないでください • 家庭用電源コンセントから電源を直接取ってください • 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まないでください • 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んでください
本製品の通風孔など開口部から、内部に金属や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災の原因となります。

⚠ 注意
異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。また、本製品の上に水などの入った容器を置かないでください。 故障・感電・火災の原因となります。
小さなお子様の手の届く所には、設置、保管しないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをする恐れがあります。
不安定な場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをする恐れがあります。
振動のある場所には、設置、保管しないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをする恐れがあります。
湿気やホコリの多い場所には置かないでください。 感電・火災の恐れがあります。
本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。 倒れたり、壊れたりしてけがをする恐れがあります。
本製品の通風孔などをふさがないでください。 内部に熱がこもり、火災の恐れがあります。 次のような場所には設置しないでください。 • 押入れや本箱など風通しの悪い狭いところ • じゅうたんや布団の上 • 毛布やテーブルクロスのような布をかけない また、壁際に設置する場合は、壁から15cm 以上のすき間をあけてください。
長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
本製品を移動する場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。
電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて刃の根元、刃と刃の間を清掃してください。 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災の原因となる恐れがあります。
各種ケーブルは、取扱説明書で指示されている通りの配線をしてください。 配線を誤ると、火災の恐れがあります。
布団などで覆った状態で使用しないでください。 熱がこもってケースが変形したり、感電・火災の恐れがあります。

設置上のご注意

⚠注意
本製品は、次のような場所に設置してください。 • 水平で安定した場所 • 風通しの良い場所 • 気温：15～30℃、湿度：15～80%の結露しない場所
本製品は、次のような場所に設置すると動作不良や故障との原因となりますので、絶対に避けてください。 • 直射日光の当たる場所 • 温度・湿度変化の激しい場所 • ホコリや塵の多い場所 • 火気のある場所 • 水に濡れやすい場所 • 揮発性物質のある場所 • 冷暖房器具に近い場所 • 震動のある場所
本製品をテレビ・ラジオの近くに設置しないでください。 本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しておりますが、この装置がテレビ・ラジオに近い場所に設置されると、受信障害を引き起こすことがあります。

複製禁止事項について

以下の行為は、法律で禁止されています。

1．紙幣・有価証券など
- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券（国債証券、地方証券など）を複製することは禁止されています。たとえ、見本の印が押してあっても複製することはできません。
- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）の複製も禁止されています。

2．印紙、切手、文書類
- 印紙、郵便切手、官製はがきなどを複製することは禁止されています。
- パスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、証明書や通行券、食券なども注意が必要です。

3．著作権の目的となっている写真、書籍、絵画、版画、地図、図面等を複製、変更、切除その他の改変をすることは、著作者の許可が必要ですのでご注意ください。

4．他人の肖像を許可なく利用することは、著作権の侵害となりますのでご注意ください。

1 ドライバソフトウェアのインストール

スキャナ用 TWAIN 対応ドライバソフトウェアをインストールします。

！注意

- ドライバソフトウェアは必ず本書の手順に従ってインストールしてください。
- Windows 2000 / XP にドライバソフトウェアをインストールする場合は、管理権限のあるユーザー（Administrator）でログインする必要があります。

1 本装置と PC が接続されていないことを確認します。

2 PC の電源を ON して、Windows を起動します。

ポイント

- 以下の画面が表示されている場合は、「キャンセル」ボタンを押して画面を閉じてください。

Windows 98 の場合

！注意

- この操作を行った場合は、インストール終了後に PC とスキャナの電源を入れなおしてください。

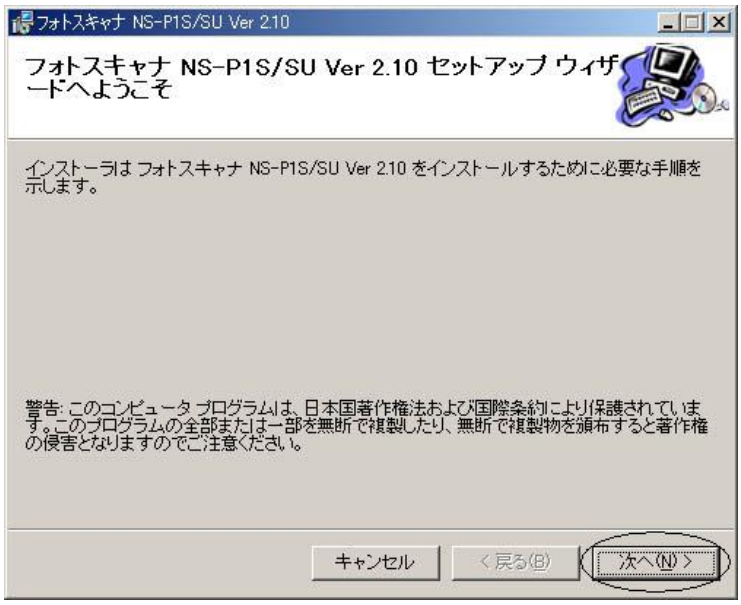
3

本装置の「NS-P1S/SU TWAIN」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

- あらかじめ、起動しているアプリケーションをすべて終了させておいてください。

4

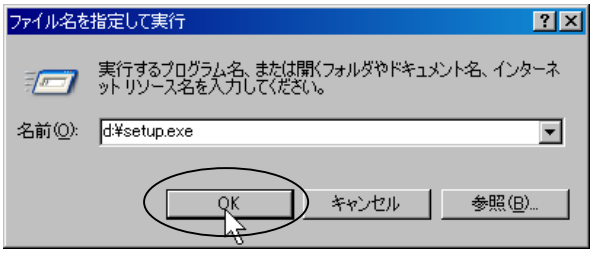
セットアップ画面が表示されたら「次へ」をクリックします。



ポイント

セットアップ画面が表示されない場合は

- 画面左下の「スタート」をクリックして「名前を指定して実行」をクリックします。
- 「d:¥setup.exe」と入力して「OK」をクリックします。



これは CD-ROM ドライブが D ドライブに設定されている場合の例です。ご使用になっている CD-ROM ドライブが D ドライブ以外に設定されている場合は「D:」の部分を設定されているドライブ名（「E:」「F:」など）に変更してください。

5

インストールの確認画面が表示されたら「次へ」をクリックします。

- コピーが開始されます。

6

インストールが終了すると、以下のダイアログが表示されますので「閉じる」をクリックします。

7

CD-ROM を取り出し、Windows を終了させます。

2 フォトスキャナ（NS-P1S/SU）の概要

本装置の特長や、読み取り可能な写真原稿について記載されています。

2.1 特長と仕様

- **大量の写真を短時間で確実に処理する自動分離搬送機構**
  最大80枚（※）までの写真を1枚ずつ分離搬送して、連続読み取りすることができます。
  ※インスタント写真は10枚、パノラマサイズは1枚毎

- **高画質を実現する非接触スキャンユニット搭載**
  写真を読み取り時に写真と読み取りガラスが接触しないので、ニュートンリングが発生せず、また搬送不良も起こりにくい機構を採用しています。

- **毎分10枚の写真を高速処理**
  L サイズの写真を1分間に10枚のスピード（※）で読み取ることが可能です。
  ※600dpi 読み取り時、PC の性能により読み取りスピードは左右されます。

- **インスタントミニ～KG 版、パノラマサイズまで多彩なサイズに対応**
  読み取り可能サイズは、E 判、L 判、KG 判、ハイビジョン、インスタント写真、パノラマサイズに対応しています。

- **主な仕様**

読取方式	原稿固定平面走査、自動分離搬送機構付		
光学解像度	主・副共　600dpi		
読取速度	10 枚/分/L 判		単体性能
読取階調	各色 12bit 入出力		
写真サイズ 最大セット枚数	E 判～KG 判	80 枚	厚み 0.23mm
	インスタントミニ、インスタント	10 枚	
	パノラマ写真	1 枚	300dpi 読取のみ
インターフェース	SCSI 2（50ピンハーフピン1個） USB2.0		同時接続（使用）はできません
電源	AC100V 50/60Hz		
外形寸法	275mm(W) x 270mm(D) x 420mm(H)		
重量	約 12Kg		
消費電力	約 150W		

2.2　読み取り写真原稿について

！注意

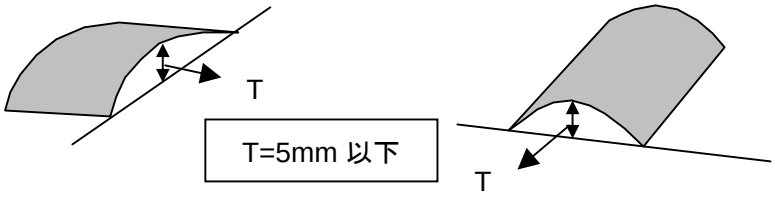
- 本装置では、読み取り可能な写真原稿の種類がそれぞれ規定されております。以降に記載されている種類、条件に合わない写真原稿の読み取は、装置や写真原稿の破損の原因となりますので、絶対に行わないでください。また、注意事項についても、よくお読みになりご使用ください。

1　読み取ることができる写真原稿

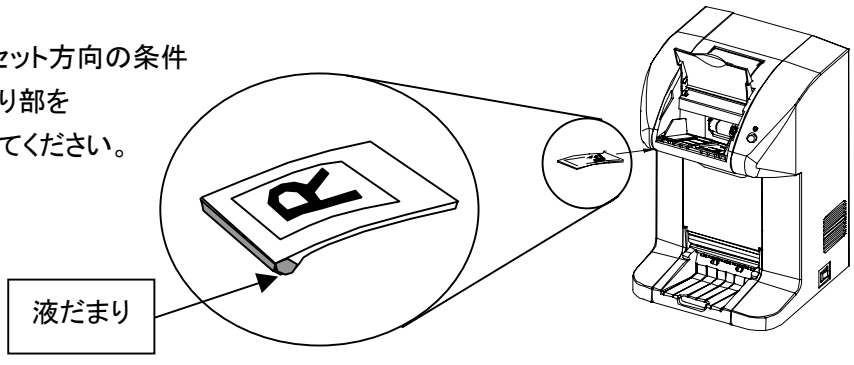
- 写真の種類、サイズとセットおよび排紙可能枚数

連続読取		
種　類	サイズ	セットおよび排紙可能枚数
E 判	82.5mm x 117mm	80
L 判	89mm x 127mm	80
DSC 判	89mm x 119mm	80
HV（ハイビジョン）判	89mm x 158mm	80
KG/4R 判	102mm x 152mm	80
インスタントミニ	54mm x 86mm	10
インスタント	86mm x 108mm	10
1枚読取		
パノラマ	89mm x 254mm	1

- 写真のカール（曲がり）条件
  下図のように、平らな面に自然状態で置いたとき、T が5mm以下の写真原稿。



- インスタント写真のセット方向の条件
  右図のように液だまり部を
  手前にして、セットしてください。



⚠注意

写真の表・裏面に、ほこりや異物をはさんだまま連続読み取りを行うと、写真面にキズ等のダメージを与える恐れがあります。必ず読み取り前に写真の表・裏面のほこり、異物を取り除いてください。
もし、十分ほこり、異物を取り除くことができない写真原稿を読み取る場合は、自動給紙ホッパー部に写真原稿を1枚のみセットし、読み取を行ってください。

2 読み取ることができない写真原稿

！注意

以下の写真は本装置および写真原稿を破損するおそれがあります。絶対に通紙しないでください。

- やぶれている写真
- 折れている写真
- 濡れている(湿っている)写真
- 2枚以上貼り付いている写真

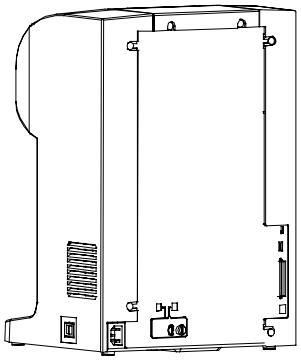
2.3 SCSI／USB ケーブルについて

本装置には、SCSI ケーブル、USBケーブルが同梱されていません。

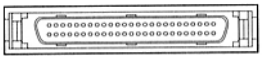
1 SCSI インターフェースをご使用の場合
以下の条件に合う SCSI ケーブルをご用意ください。

！注意

- 本装置を PC 本体や他の SCSI 機器と接続する際には、本装置のインターフェースに合った SCSI ケーブルが別途必要になります。接続する機器に合わせて、適切なケーブルをご用意ください。
- 用意する SCSI ケーブルの種類は、各機器のコネクタ形状に合わせて準備してください。
- 本装置の SCSI コネクタは「50ピンハーフピン(メス)」です。
- SCSI ケーブルは、シールド付のハイインピーダンス品で、線径11mm以下の製品を使用してください。



本装置の SCSI コネクタは「50ピンハーフピン(メス)」です。
ケーブルのコネクタは「50ピンハーフピン(オス)」のものが必要です。

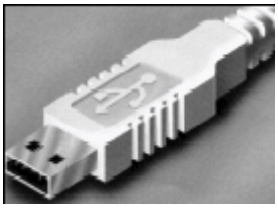


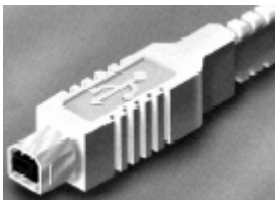
2 USB インターフェースをご使用の場合
以下の条件に合う USB ケーブルをご用意ください。

！注意

- 本装置を PC 本体や USB ハブに接続する際には、本装置のインターフェースに合った USB ケーブルが別途必要になります。接続する機器に合わせて、適切なケーブルをご用意ください。
- 用意する USB ケーブルの種類は、各機器のコネクタ形状に合わせて準備してください。
- 本装置の USB コネクタは「シリーズ B コネクタ」です。
- USB ケーブルは USB2.0 認定品をお使いください。

シリーズ A
コネクタ
コンピュータ側





シリーズ B
コネクタ
スキャナ側

2.4 推奨動作 PC 環境について

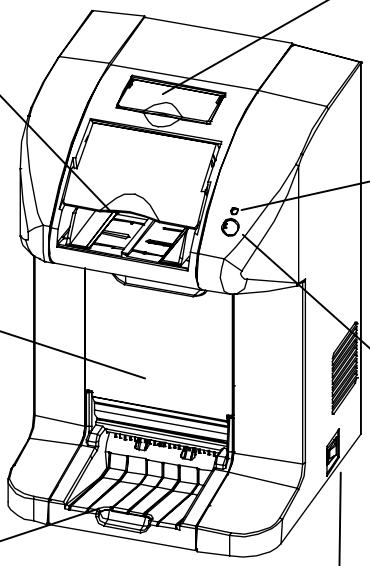
フォトスキャナ（NS-P1S/SU）を動作させるためには、以下のシステム環境以上を推奨します。

	SCSI	USB注)
OS	Windows 98 / 98SE / Me / NT4.0 / 2000 / XP	Windows 98SE / Me / 2000 / XP
CPU	Pentium Ⅲ 866MHz 以上	
メモリ	128MB 以上	
ハードディスクの空き容量	1.5Gbyte	
推奨 SCSI ボード	Adaptec 2940AU	-

注）Microsoft 社が提供している、最新の USB2.0 ドライバが必要です。

3 各部の名称と働き

前面



原稿セット・カバー
自動給紙ホッパー

複数枚の原稿を一括でセットでき、一枚ずつ連続で給紙することが出来る原稿セット部です。

フロントカバー

フックを解除して手前に引くと、読み取りガラス部のクリーニング及び、万一停止した場合に原稿を取り出す事ができます。

排紙トレイ

読み取り終了後の原稿が排紙、スタックされます。

パノラマセット部

パノラマ写真を読み取るための専用給紙口です。

ステータスランプ

フォトスキャナ（NS-P1S/SU）の状態を点灯・点滅で表示します。

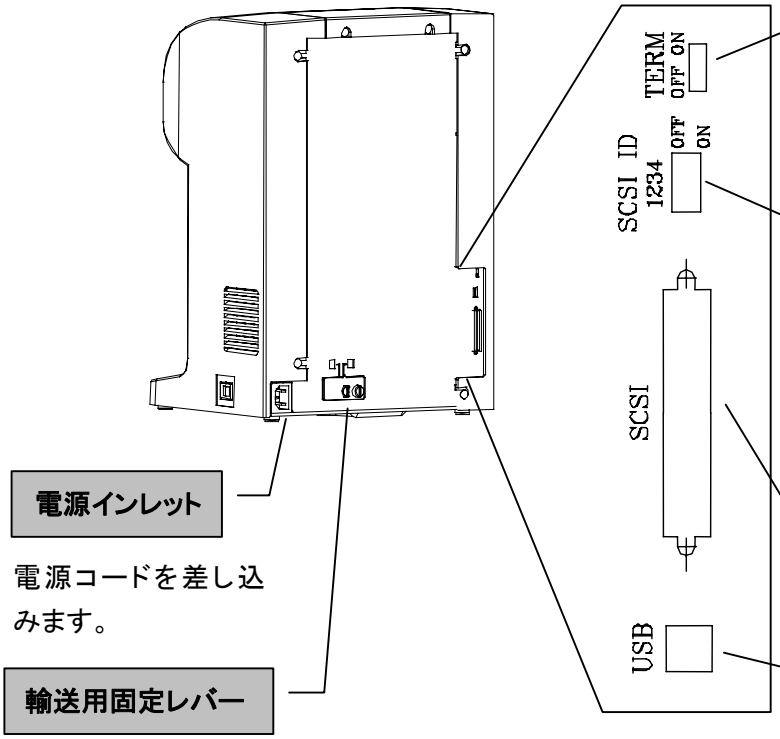
スキャンボタン

Nisca TWAIN ダイアログボックスが表示された状態で、このボタンを押すと、連続読み取り（パノラマの場合は1枚読み取り）が始まります。

電源スイッチ

フォトスキャナの電源をオン／オフします。

背面



電源インレット

電源コードを差し込みます。

輸送用固定レバー

輸送・移動時に読み取りキャリッジが動かないように固定するレバーです。

ターミネータスイッチ

ターミネータ（終端抵抗）をオン／オフできます。通常はオンです。

SCSI-ID スイッチ

SCSI-ID 番号を設定します。
設定方法は、「4　フォトスキャナ（NS-P1S/SU）の接続」のページをご覧ください。

SCSI コネクタ

SCSI ケーブルを接続します。

USB コネクタ

USB ケーブルを接続します。

4 フォトスキャナ（NS-P1S/SU）の接続

4.1 SCSI インターフェースをお使いの場合

ご使用の PC または他の SCSI 機器と本装置を接続します。

！注意

- 作業を行うには、本装置および PC と周辺機器および他の SCSI 機器の電源をすべて OFF にしてから行ってください。

---

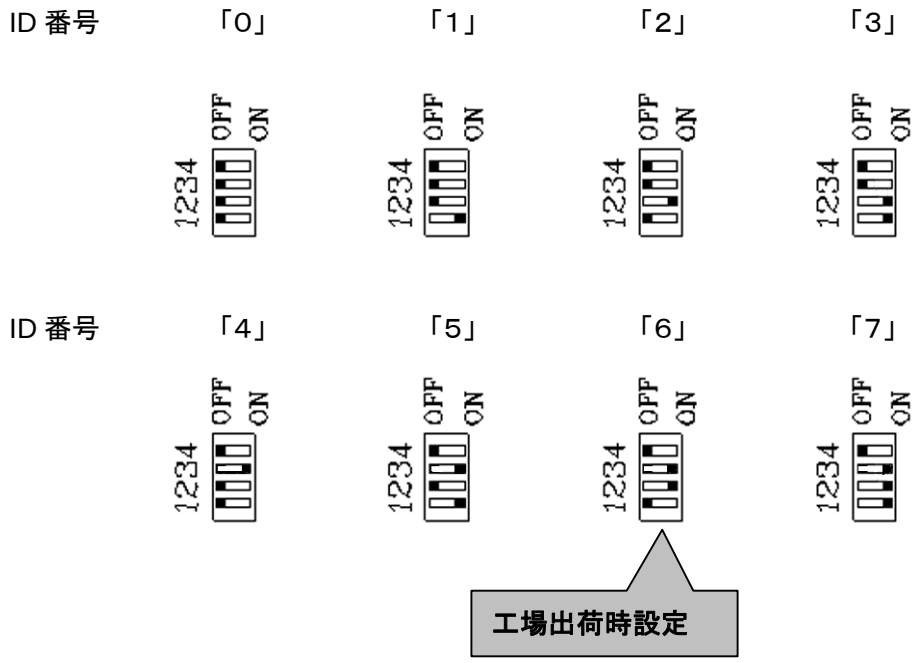
1 SCSI の ID 番号を設定します。

！注意

複数の SCSI 用周辺機器をデイジーチェーンする場合は、SCSI ID 番号が重複しないように設定する必要があります。SCSI ID を重複して設定すると、重複した機器のデータを壊すおそれがありますのでご注意ください。

ポイント

- 本製品の工場出荷時の SCSI ID 番号は「6」になっています。
- SCSI ID 番号の設定は、本製品の背面にあるディップスイッチで行います。目的の ID 番号を下図の ID 番号図と照らし合わせて設定してください。

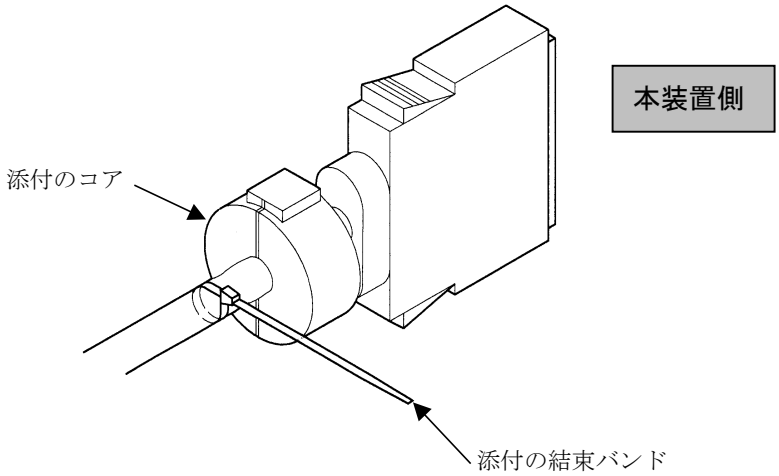


2

使用する SCSI ケーブルに添付のフェライトコアを取り付けます。

ポイント

- 本装置を使用するにあたっては、図のようにご使用になられる SCSI ケーブルの、本装置側のコネクタのすぐ近くに同梱のフェライトコアを取り付けてください。
- フェライトコアとコネクタとの隙間は2cm以内になるよう取り付けてください。またフェライトコアはパチンと音がするまで押さえ、ロックの爪がしっかりかかっていることを確認してください。
- 取り付け後は位置がずれないように、同梱されている結束バンドにて固定してください。



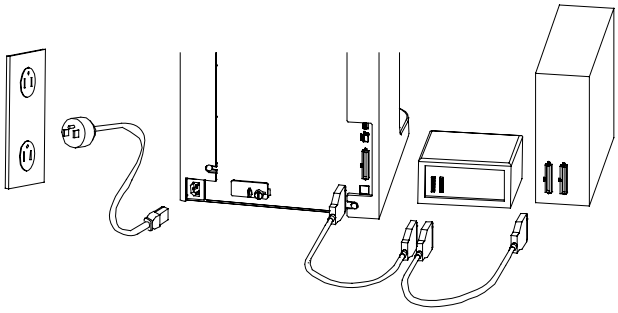
PC に接続します。

3

！注意

- SCSI ケーブルの接続は、必ず全ての装置の電源を切った状態で行ってください。

- SCSI ケーブルを本装置と PC または他の周辺機器と接続します。
- 電源コードを本装置に接続し、AC 電源に接続します。



SCSIケーブル

ポイント

- デイジーチェーンで SCSI 機器を複数台接続する場合は、本装置を必ず最終段に接続してください。
- SCSI ID スイッチ上部にある TERM（ターミネータ）スイッチが ON（工場出荷時）状態であることを確認してください。

4.2　USB インターフェースをお使いの場合

ご使用の PC または USB ハブと本装置を接続します。

ポイント

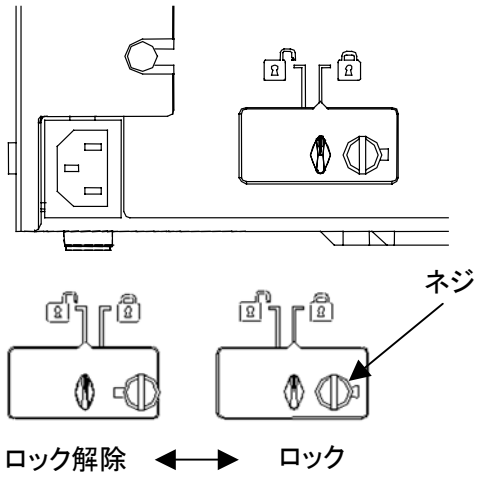
- USB ケーブルのコネクタには表裏があります。差込口の形状をご確認の上、差し込んでください。
- USB ハブを複数個使用する場合は、コンピュータに一番近い USB ハブに接続してください。

4.3　輸送用固定レバーをロック解除位置に合わせます

右下図のようにロック解除レバーをロック解除位置にスライドし、ネジを固定します。

！注意

- 本装置背面にある輸送用のキャリッジ固定レバーをレバー横にあるネジをゆるめて の位置に合わせ、再びネジをしめます。
- 本機を輸送・移動する場合は、必ず輸送用の固定レバーを の位置に合わせてキャリッジを固定してください。
- この固定レバーを解除せずに電源をオンすると、装置故障の原因となりますのでご注意ください。

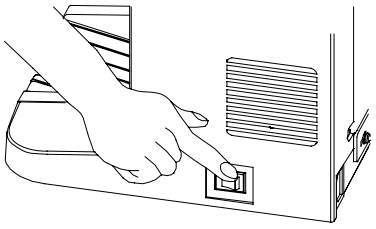


4.4　フォトスキャナ（NS-P1S/SU）と PC の電源を入れます

フォトスキャナと PC の電源を入れます。

！注意

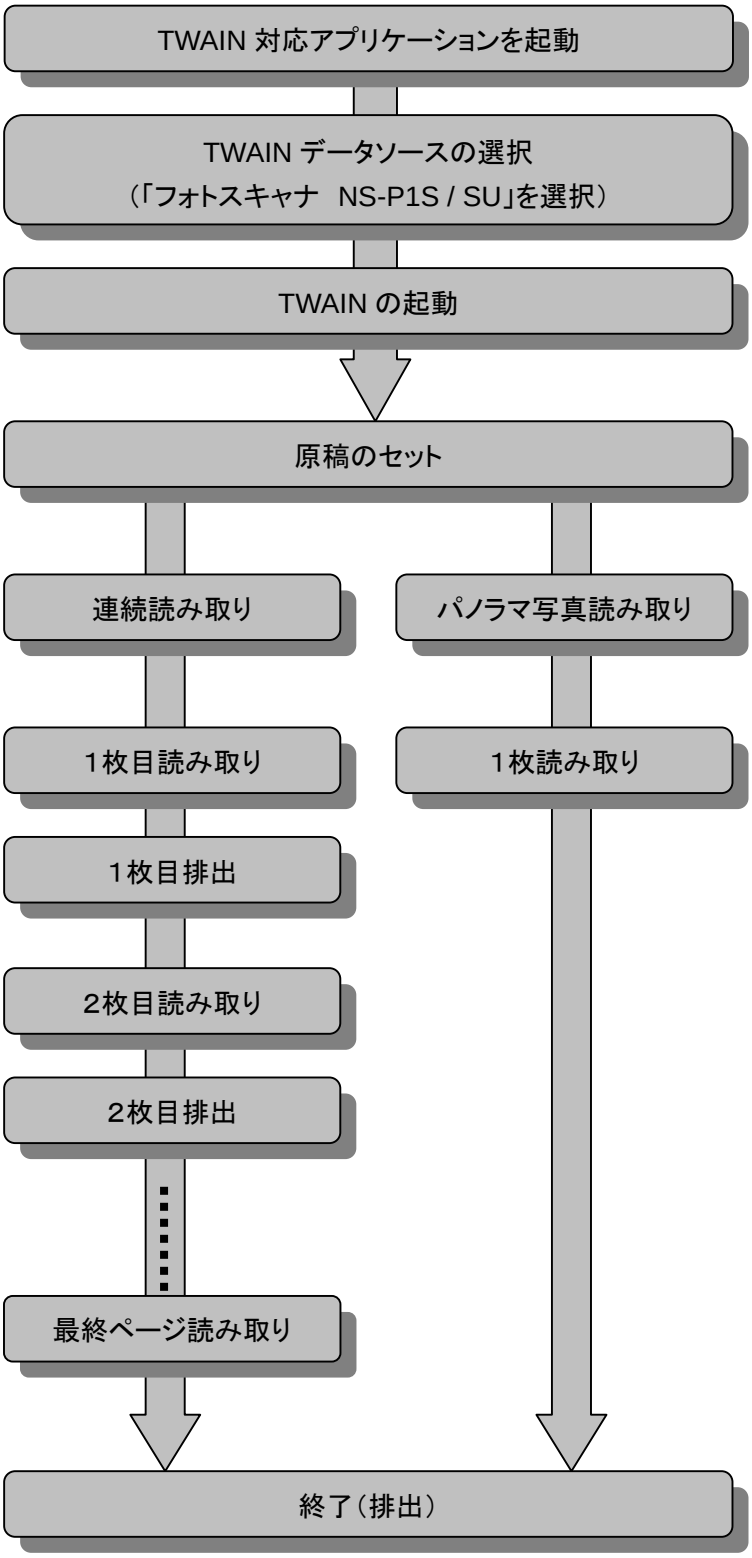
- SCSI インターフェースをご使用の場合は、本装置を含む周辺機器に電源を入れる場合は、必ず PC より先に電源を入れてください。逆に電源を切る時は、先に PC の電源を切ってから行ってください。



5 操作

5.1 操作のながれ

画像を取り込む方法について、操作の流れを簡単に説明します。



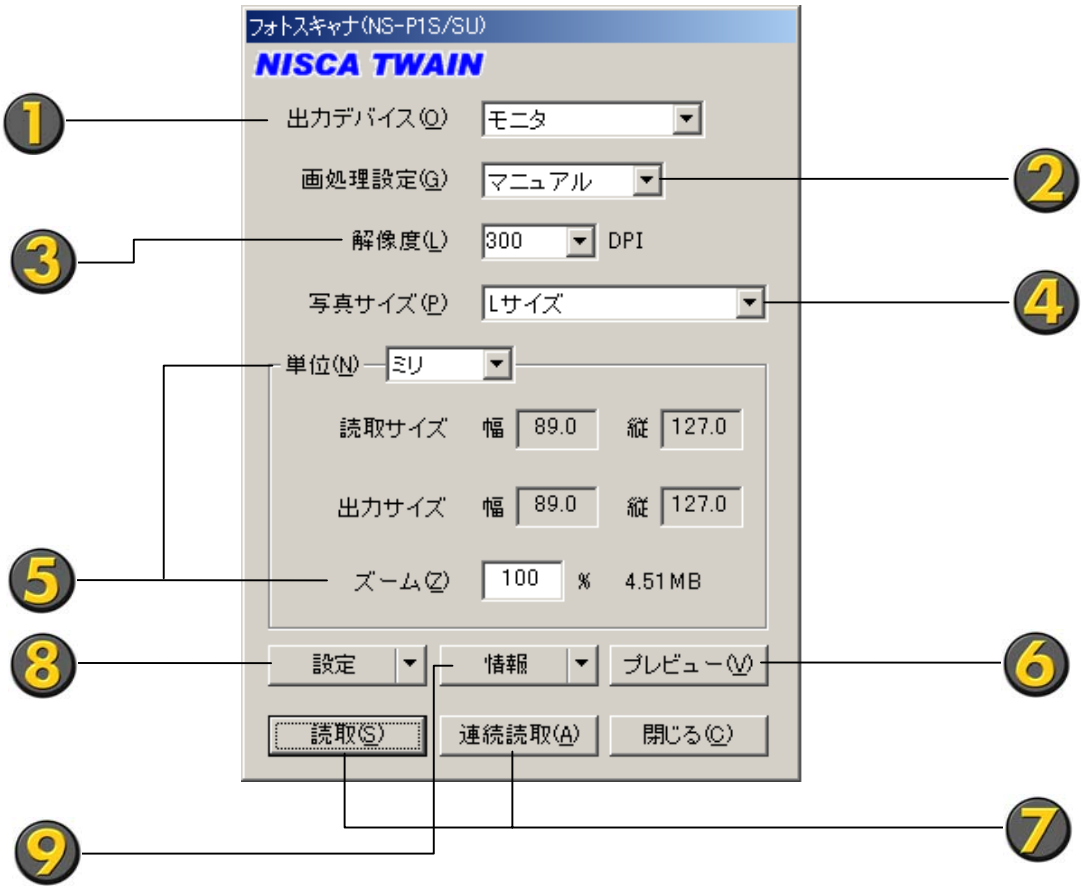
5.2　スキャン手順

本ドライバソフトは、Windows 環境の TWAIN 対応アプリケーションソフトから起動されます。

1　ドライバソフトの起動

ポイント

- 起動方法はお使いの TWAIN 対応アプリケーションソフトによって異なります。お使いの TWAIN 対応アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。
- TWAIN 対応アプリケーションソフトから本ドライバソフトを起動すると、次のダイアログボックスが表示されます。



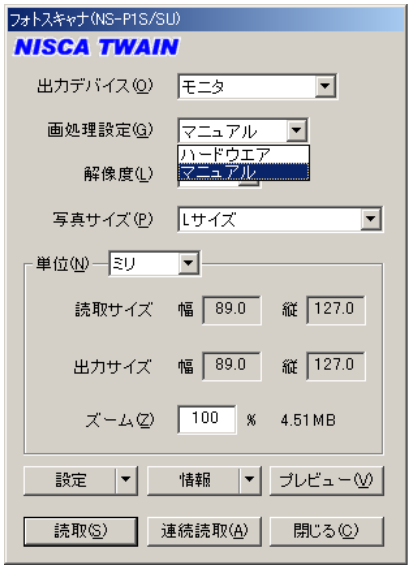
① 出力デバイスの設定

- Version2.2x では、あらかじめ、AGFA D-LAB、CP8000D、Lab-Std、モニタに適した設定がリストに用意されています。最適な解像度と色補正が自動設定されます。

  AGFA D-LAB：アグファ・ゲバルト製
  D-LAB 機用
  CP8000D：三菱電機株式会社製
  昇華型プリンタ用
  Lab-Std：デジタル・ラボ機用
  モニタ：一般モニタ用、CD-R 書き込み用

② 画処理設定

- ハードウェア
  フォトスキャナ（NS-P1S/SU）内の画処理機能を使って読み取りを行います。
  高速読み取りを要求する場合に適しています。
- マニュアル
  フォトスキャナ（NS-P1S/SU）内の画像処理機能にプラスして、ソフトウェアによる画像処理を行います。高画質読み取りを要求する場合に適していますが、読み取り速度が遅くなります。
  「設定」プルダウンメニューにてユーザ設定された値が有効になります。



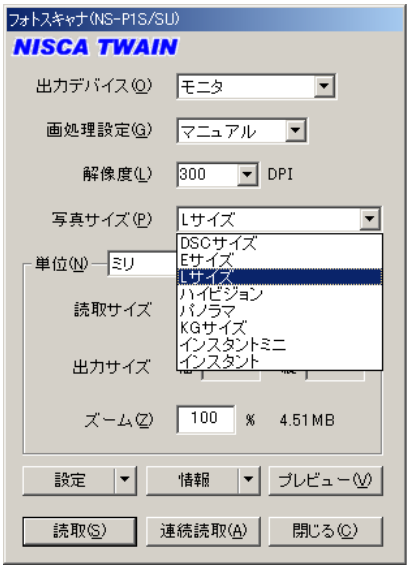
③ 解像度

- 出力解像度を選択します。
- 50 dpi～600 dpi の範囲で 1 dpi 刻みで入力設定も可能です。

4 写真サイズ

- 写真サイズ
  読み取る写真のサイズを指定します。
  指定された写真のサイズが、読み取りサイズとして表示されます。

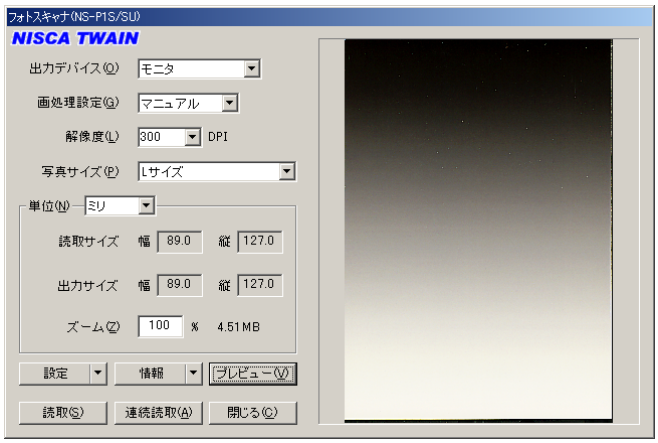
  登録されている写真サイズは、前項 2.2 で「読み取り可能な写真原稿」に記載されています。



5 単位、ズーム

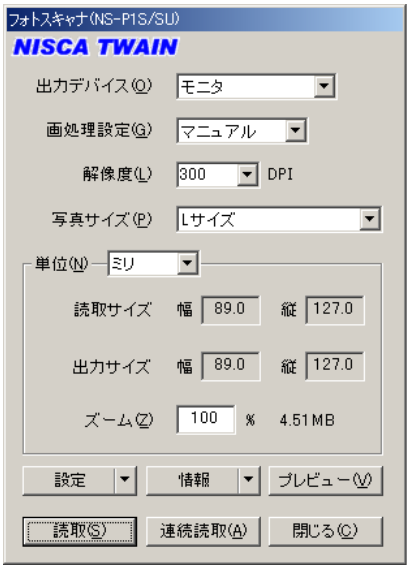
- 単位
  読み取り・出力サイズに表示される単位を指定します。
- ズーム
  出力サイズを 10%～200%まで 1%刻みで設定できます。

6 プレビュー



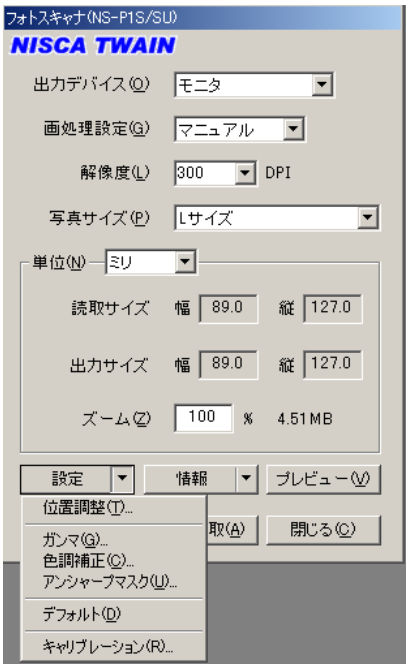
- 設定を変えて再度プレビューボタンを押すと、同じ写真を再度プレビューします。
- 読取ボタンを押すと、現在の設定で一枚読み取ります。
- 連続読取ボタンを押すと、現在の設定ですべて読み取ります。

7 読取、連続読取



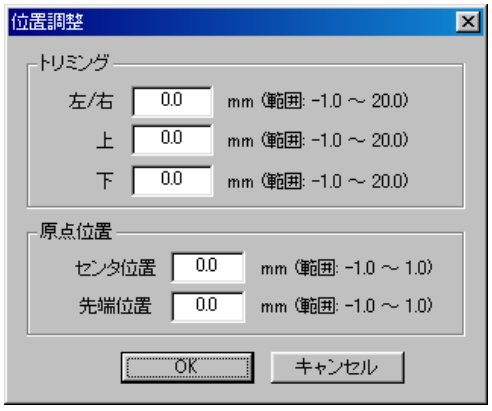
- 読取
  写真を一枚のみ給紙し、読み取りを行います。
- 連続読取
  現在の設定で自動給紙ホッパーにあるすべての写真を連続で読み取ります。

8 設定



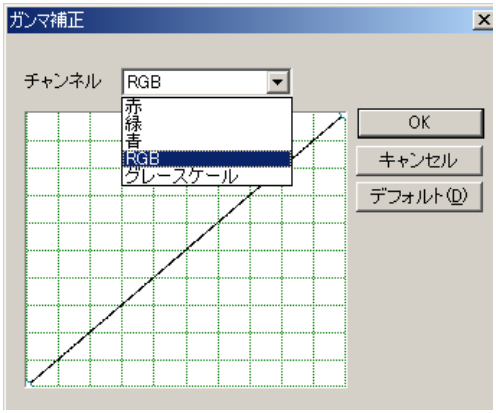
- 設定プルダウンメニューで、「位置調整」、「ガンマ」、「色調補正」、「アンシャープマスク」、「デフォルト」、「キャリブレーション」の項目を選択できます。
- 「ガンマ」、「色調補正」、「アンシャープマスク」は画像処理設定で「マニュアル」を指定した場合のみ有効となります。

「位置調整」



- - トリミング -
  「写真サイズ」で設定されたサイズからのトリミングを行います。数値のマイナス値は広く、プラス値は切り取って画像を出力します。
- - 原点位置 -
  読み取った画像が欠けていたりした場合に、センタ位置と先端位置を微調整することができます。センタ位置は、マイナス値で画像が左へシフトし、プラス値で右へシフトします。
  先端位置は、マイナス値で画像が上方へシフトし、プラス値で下方へシフトします。

「ガンマ」

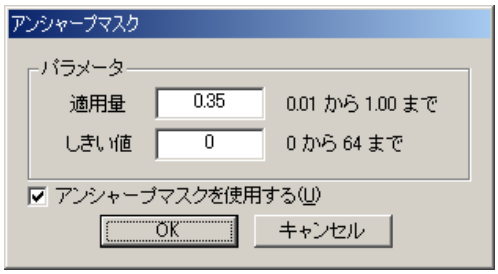


- 出力ガンマ補正をマニュアルで設定できます。
- 各チャンネルは個別設定が可能で、RGB を選択すると RGB 全てのチャンネルに同じ値が設定されます。
- 色調補正のメニューでグレースケールのチェックボックスがチェックされている場合は、グレースケールのみのチャンネルが有効となります。
- ラインをクリックするとポイントが表示されますので、そのポイントをドラッグしカーブを設定してください。

「色調補正」

- カラーバランス、彩度、明度を設定します。
- グレースケールのチェックボックスをチェックするとモノクログレーで出力されます。

「アンシャープマスク」



- コントラストを部分的に調整することで画像をシャープにします。
- 適用量:
  アンシャープマスクの強さを設定します
- しきい値:
  注目画素から設定された値以上差があるとアンシャープマスクが適用されます。

- しきい値に小さい数値を入力すると、画像エッジの少ない濃淡部分にもアンシャープマスクは適用され、0を設定するとすべてに適用されます。

「デフォルト」

- 現在選択されている出力デバイスの状態を初期値に戻します。
- 初期値は各デバイスで異なっています。

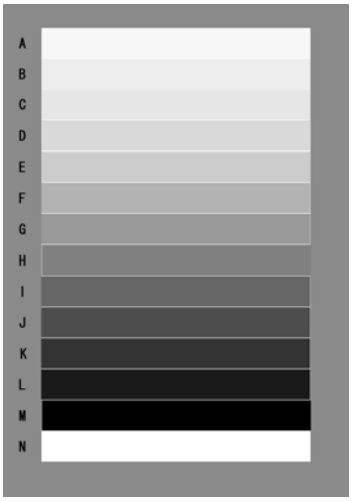
「キャリブレーション」

- 出力デバイスに合わせた色補正値を作成することができます。
- 作成した色補正は任意の名前で出力デバイスリストに保存することができます。

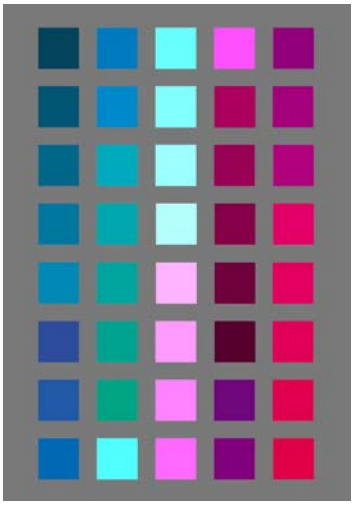
キャリブレーション手順

1. キャリブレーションを行う出力デバイスから、本装置の「NS-P1S/SU TWAIN」CD-ROMのchartフォルダ（D:¥chart¥）*1に収録されているグレーチャート（Gchart.bmp）、カラーチャート1（Cchart1.bmp），カラーチャート2（Cchart2.bmp）の計3枚を出力します。 出力サイズは、前項2．2の「読み取り可能な写真原稿」のうちE判、L判、DSC判、HV判、KG/4R判、パノラマのいずれかのサイズで出力してください。また、出力結果は下図のようにグレーチャートは 14 行の縞、カラーチャート1,2 は縦8×横5の計40個の升が出力されている必要があります。

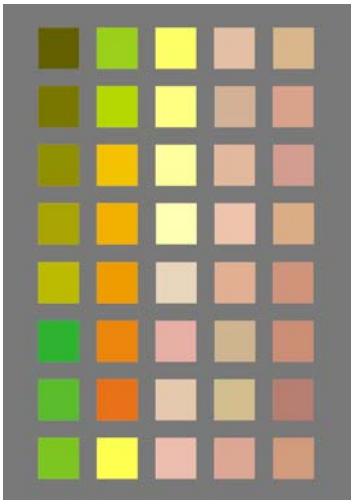
   *1CD-ROMドライブがDドライブに設定されている場合



Gchart.bmp
グレーチャート

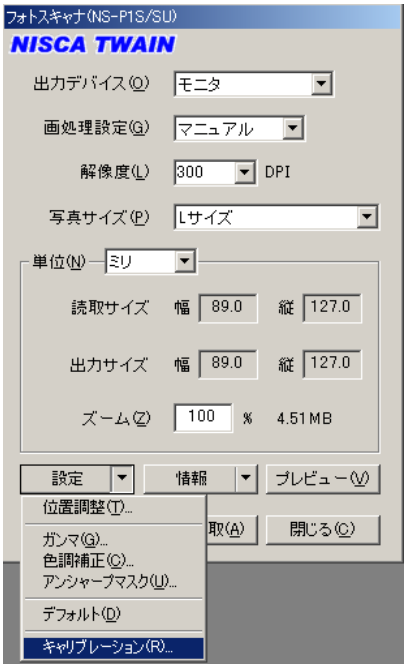


Cchart1.bmp
カラーチャート 1

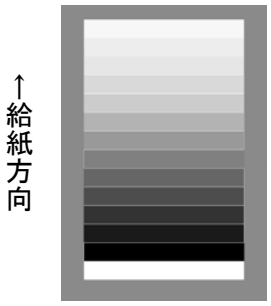


Cchart2.bmp
カラーチャート 2

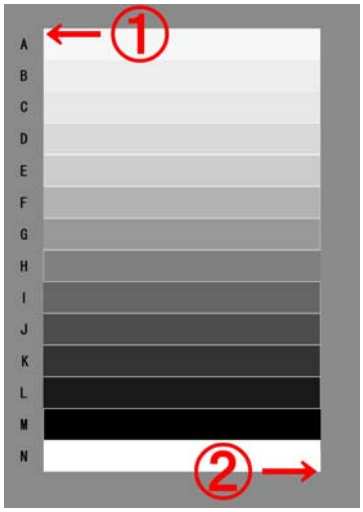
2. 「設定」プルダウンメニューの「キャリブレーション」を選択すると、「グレーチャートをセットしてください」と表示されます。

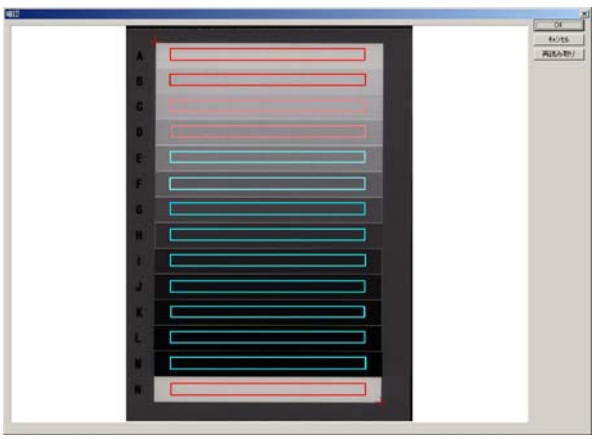


1. で出力したグレーチャートをホッパーに、下図の向きでセットします。セット後に「OK」をクリックすると、読み取りを開始します。

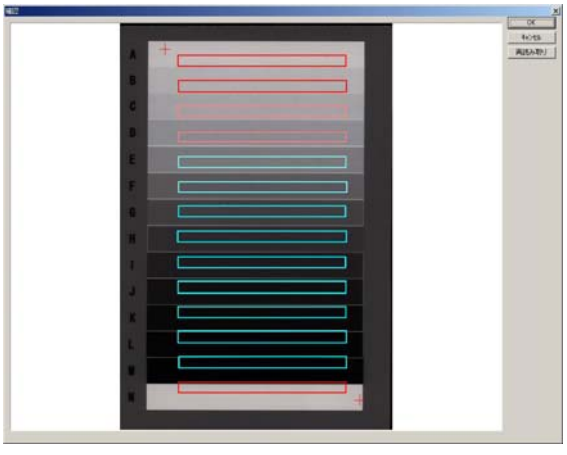


3. 読み取り結果の確認画面が表示されますのでグレーチャートの①の位置（A の行の左上端）で、マウスの左ボタンを押し、そのまま②の位置（N の行の右下端）までカーソルを移動させます。チャート上に枠が表示されますので、左下図のように枠が各行に入るように調節して左ボタンを離してください。右下図のように各行から枠が外れていた場合は再度同じ作業を行います。また、写真の向きや順番を間違えたり、すべての行が読み取れなかった場合などは「再読み取り」をクリックして、もう一度グレーチャートを読み取り直します。
枠が各行に入ったら「OK」をクリックして、次に進みます。



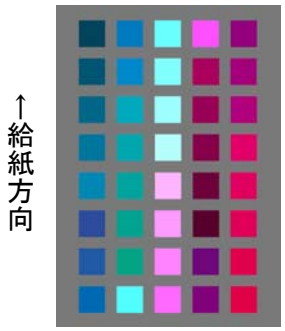


よい例

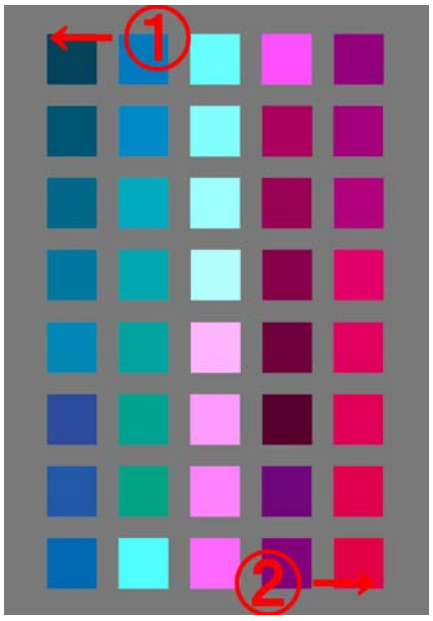


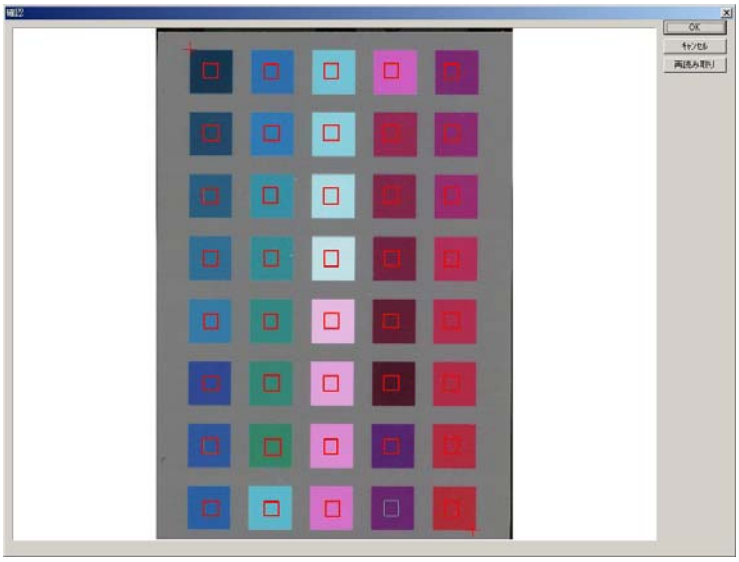
悪い例

4. 「カラーチャート1をセットしてください」
と表示されたら、右図の向きでカラーチャート1をセットします。
「OK」をクリックすると読み取りを開始します。

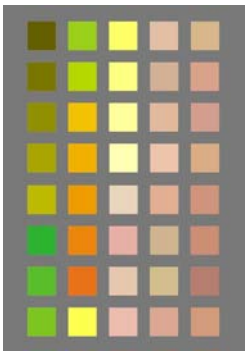


5. 確認画面の左下図の①（最上段左上端）でマウスの左ボタンを押し、②（最下段右下端）まで移動させて離します。右下図のようにすべての色の中に枠が入るように枠を調節して「OK」をクリックします。
読み取りに失敗した場合は「再読み取り」をクリックして、もう一度カラーチャート1を読み取り直します。

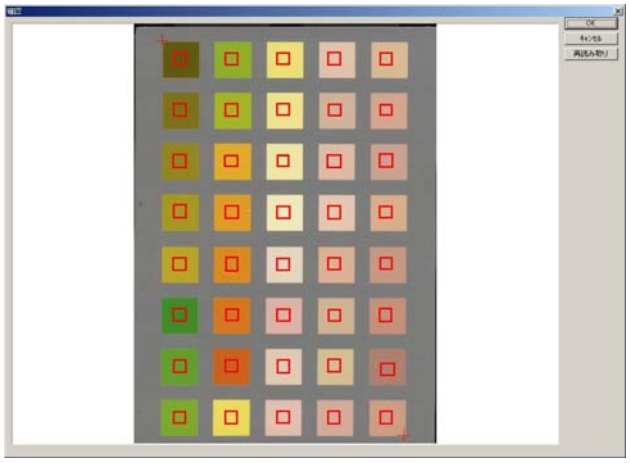




6. 次に「カラーチャート2をセットしてください」
と表示されたら右図の向きにカラーチャート2をセットします。
「OK」をクリックすると、読み取りを開始します。



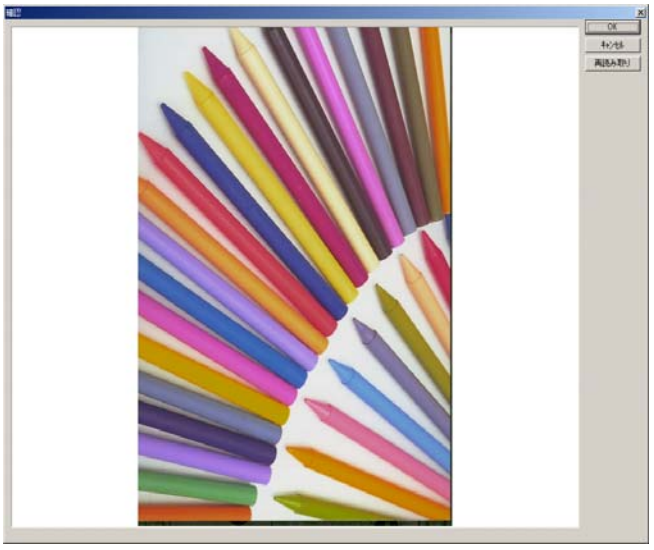
7. カラーチャート1と同様に右図のように各色内に枠がくるように調節して、「OK」をクリックします。



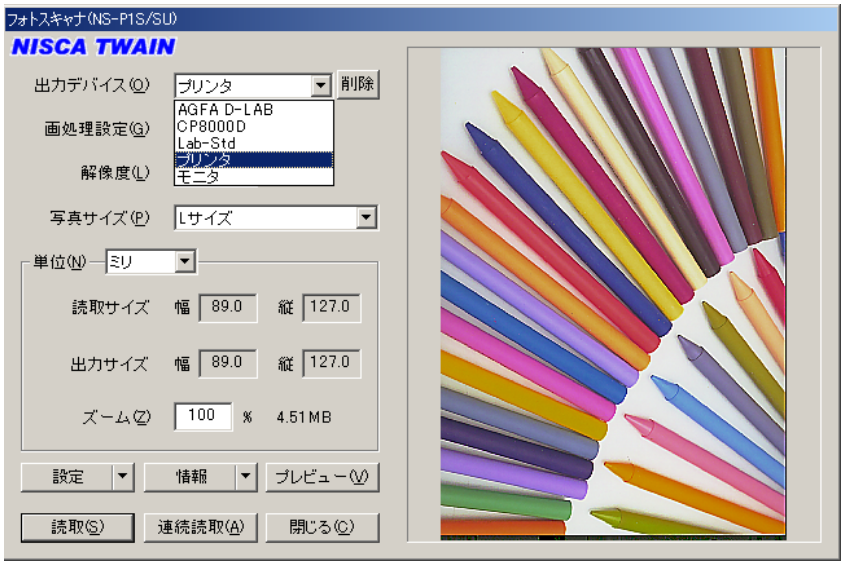
8. サチュレーションの設定を行います。サチュレーションを変更すると色彩が変化します。明の部分を増やしていくと濃度の高い色を中心にして色彩が薄くなっていきます。暗のほうを増やしていくと濃度の低い色を中心に色彩が薄くなっていきます。特に変更の必要ない場合は、デフォルト値の0，0に設定してください。

9. 「サンプル表示用の写真をセットしてください」と表示されますので、ホッパーにサンプル写真をセットし「OK」をクリックします。

サンプル表示用の写真を読み取り、プレビューが表示されます。ここで、サチュレーションの調整結果を確認し、再びサチュレーションを変更したい場合は「再読み取り」をクリックするとサチュレーションの設定画面に戻ります。サチュレーションの設定が完了したら「OK」をクリックして次に進みます。



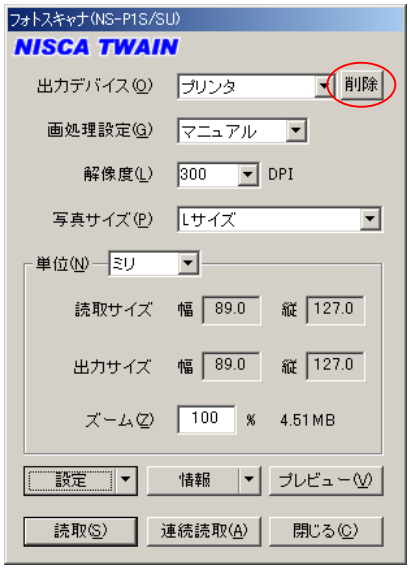
10. 最後に右図のダイアログボックスにデバイス名を入力してキャリブレーションを終了します。この名前で色補正が出力デバイスのリストに追加されます。
ここでは、例として「プリンタ」と名前をつけています。

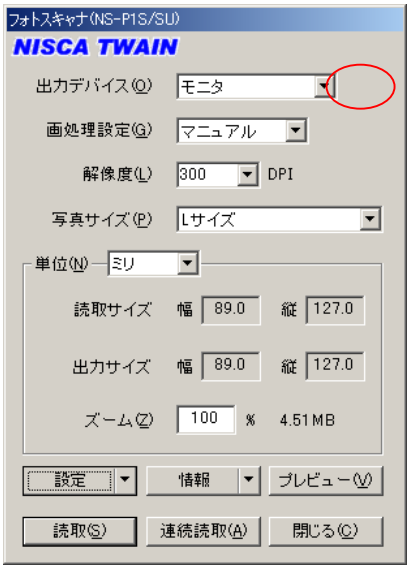


出力デバイスの削除

- 現在設定されている出力デバイスを削除できます。
削除ボタンをクリックすると確認ダイアログが表示されます。
「はい」をクリックすると設定が削除され、
「いいえ」をクリックすると削除を中止します。

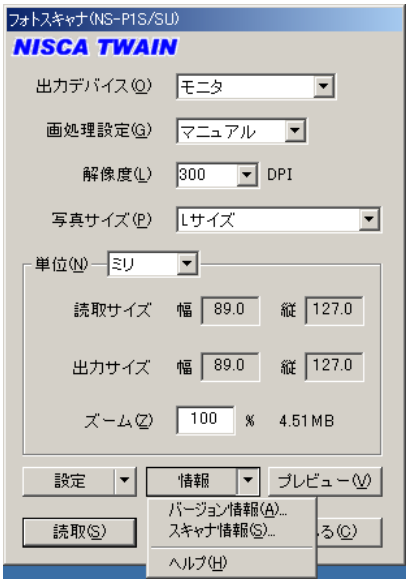
- デフォルトの出力デバイス(AGFA　D-LAB、CP8000D、Lab-Std、モニタ)は削除できません。そのため、削除ボタンはこれらの設定を選択している場合は表示されません。





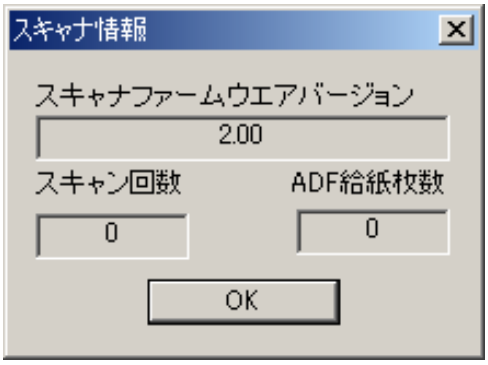
情報

- 情報で、ドライバソフトのバージョンとスキャナの情報が取得できます。



- バージョン情報
  ドライバソフトウェアのバージョンが表示されます。

- スキャナ情報
  スキャナの内部メモリの情報が表示されます。



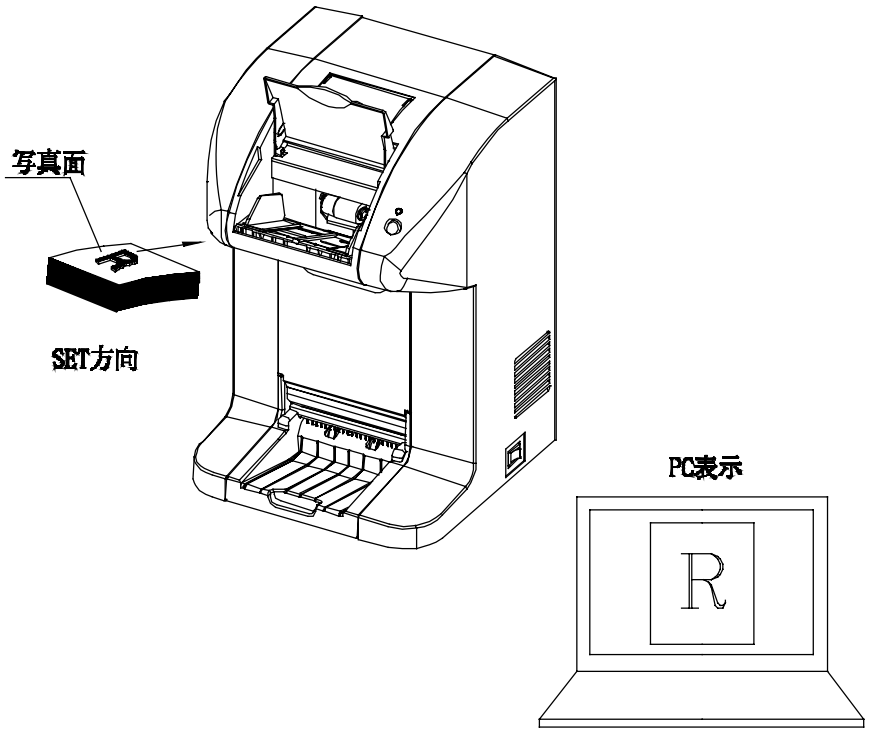
  - スキャナファームウェアバージョン
    お使いの商品のファームウェアバージョンが表示されます。
  - スキャン回数
    今まで読み取りを行った回数が表示されます。
  - ADF 給紙枚数
    今まで原稿ホッパーから給紙された写真原稿の枚数が表示されます。

- ヘルプ
  本取扱説明書が起動します。

5.3　原稿のセット

写真原稿の読み取り方法は、写真原稿の種類別に2つの方法があります。

1　自動給紙ホッパーから読み取る。



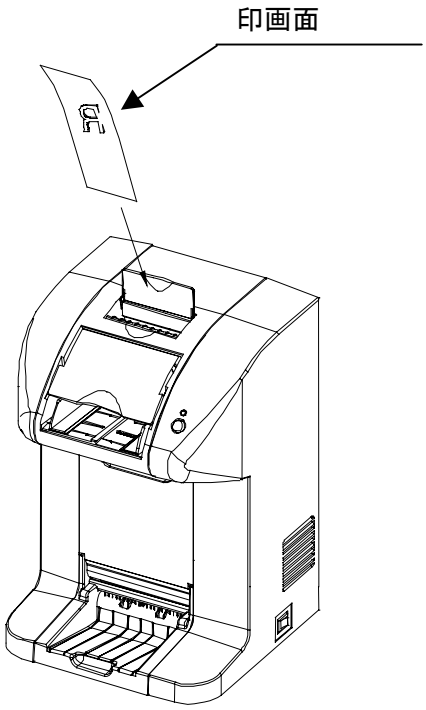
- 原稿セット・カバーを上方に開けると、原稿トレイが下降します。
- 11ページの表にあるセット可能な写真原稿の種類と枚数を確認して、ホッパー部に写真原稿の印画面を上にして、揃えてセットします。
- セット終了後、原稿セット・カバーを閉じると、原稿トレイが上昇し、セットが完了です。
- 自動給紙ホッパーからの読み取り可能サイズとセット枚数は、11ページを参照してください。

！注意

- 異なるサイズの写真原稿を同時にセットしないでください。
- 原稿セット・カバーを強い力で押さないでください。破損の原因となります。

2

パノラマ写真を読み取る。



- パノラマセット・カバーを開きます。
- パノラマ写真の印画面をフォトスキャナ（NS-P1S/SU）の背面方向に向けて、給紙口へパノラマ写真を挿入します。
- パノラマ写真は、給紙口面まで確実に挿入してください。途中位置で止めたり、装置内部まで押し込むと、正常に読み取りが出来ない場合がありますので、ご注意ください。

！注意

- パノラマ写真は1枚ずつ挿入してください。
- パノラマセット・カバーを強い力で押さないでください。破損の原因となります。

6 日常のお手入れ（クリーニング）

6.1 外装カバーのクリーニング

装置外面部の汚れは、乾いた布で拭き取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を少量含ませた布で拭き取った上、乾いた布で乾拭きしてください。

！注意

- アルコール、シンナーなどの有機溶剤は、装置の材質を侵す危険がありますので、使用しないでください。

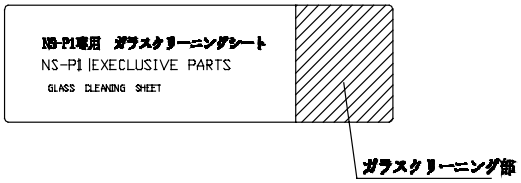
6.2 読み取りガラス、ローラーのクリーニング

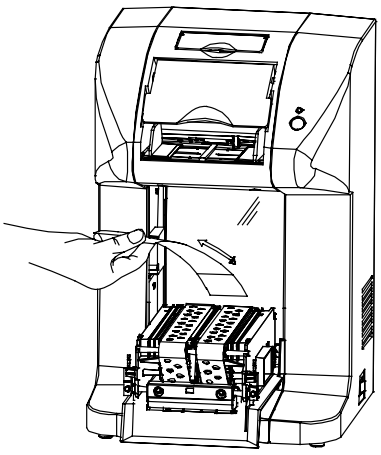
付属のクリーニングシートを使って、以下の手順でローラー及び読み取りガラス面のクリーニングを行ってください。

---

1 読み取りガラスのクリーニング方法。

- フロントカバーを開き、ガラスクリーニングシートでガラス面に付着した汚れを清掃します。





ポイント

- パノラマセット部からも同様の方法でガラスクリーニングができます。
- ガラスクリーニング時、ガラスに直接手で触れないようにご注意ください。
- ガラスクリーニングシートは、数回お使いいただけます。保管の際は、ほこり・ゴミを落として、ビニール袋に入れて保管してください。

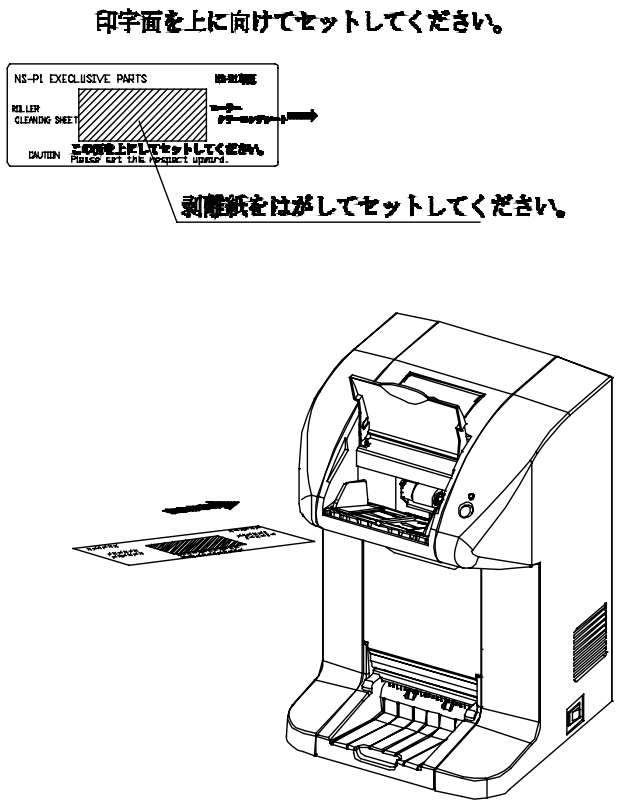
2

ローラーのクリーニング方法。

- 給紙ホッパーにローラークリーニングシートをセットし、写真読み取りを実行してください。ローラークリーニングシートを搬送動作することでゴムローラーに付着した汚れを清掃します。汚れがひどい場合は繰り返し実行してください。

！注意

- ローラークリーニングシートは、絶対にパノラマセット部に挿入しないでください。
- 印字面を下に向けてセットしないでください。装置故障の原因となります。



ポイント

- ローラークリーニングシートは数回ご使用いただけます。保管の際は、はがした剥離紙を元の位置に貼って、ビニール袋に入れて保管してください。

クリーニングシートの汚れがひどくなった場合は、新しいガラスクリーニングシートをお買い求めください。詳しくは、販売店までお問い合わせください。

7 トラブルシューティング

困ったときや故障かな？と思ったときは、修理を依頼する前に、もう一度次の点をお調べください。

症　状	原因チェック項目	対　策
インストールプログラムが起動しない	インストールプログラム起動用のメモリが不足している	起動しているアプリケーションを全て終了し、インストールしなおす。
電源オン時に異常音がする	輸送固定用のレバーがロック状態になっていませんか？	電源をオフし、「4.3 の輸送用固定レバーをロック解除位置に合わせます」の手順でロックを解除する。
	上記以外の場合	お買い求めの販売店にお問い合わせください。
スキャナが認識されない	SCSI、USB ケーブルが正しく接続されていますか？	ケーブルを正しく接続しなおす。SCSI インターフェースの場合は、本装置及び PC の電源を切ってから再度「4.1 の SCSI インターフェースをお使いの場合」の手順で接続を行ってください。
	SCSI インターフェースの場合、PC の後に本装置の電源をオンしませんでしたか？	SCSI インターフェースの場合、本装置及び SCSI 周辺装置の電源を PC より先にオンする必要が有ります。
	パソコンの USB インターフェース、スキャナが Windows に認識されていますか？	デバイスマネージャを表示して、パソコンの USB インターフェース、スキャナが Windows に認識されているかを確認してください。
読み取り画像にゴミが出る	読み取り写真にゴミやほこり、汚れがついていませんか？	読み取り写真をきれいにしてから、もう一度読み取ってください。
	給紙ローラー、読み取りガラス面にゴミやほこり、汚れがついていませんか？	「6 日常のお手入れ」の手順で給紙ローラー、読み取りガラスの清掃を行ってから、もう一度読み取ってください。
読み取り画像にモアレ（網目状の陰影）が生じる	読み取り写真に細かい網点状の処理が施されていませんか？	「7.2 画像にモアレ（網目状の陰影）が生じる」の手順で、もう一度読み取ってください。
給紙時に写真がスリップしたり、給紙ミスが発生する	給紙ローラーにゴミやほこり、汚れがついていませんか？	「6 日常のお手入れ」の手順で給紙ローラーの清掃を行ってから、もう一度読み取ってください。
写真原稿が本装置内につまった場合	読み取り禁止写真を読み取ろうとしていませんか？	「7.1 写真原稿が本装置内につまった場合」の手順に従い、内部の写真を取り除いてください。また、「2. 2読み取り写真原稿について」をご覧いただき、読み取り可能な写真かどうか、もう一度ご確認ください。
スキャナのステータスランプが点滅する。PC 画面上にエラーメッセージが表示される	スキャナ及び通信関係で異常が発生しています	「7.3 エラーメッセージ」をご参照ください。

7.1　写真原稿が本装置内につまった場合

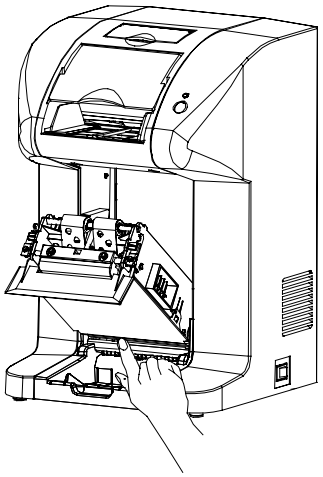
写真原稿が停止した位置により、以下の手順で写真原稿を取り除いてください。

！注意

- 無理に写真原稿を取り出そうとすると、写真原稿にダメージを与える可能性がありますので、慎重に行ってください。
- はじめに、自動給紙ホッパーおよび、排紙トレイ部に残った写真原稿を取り除き、PC の電源、本装置の電源の順で電源を切ってから、以下の手順で行ってください。

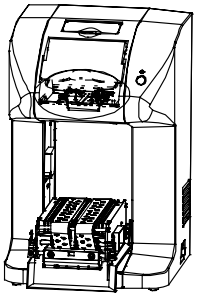
⚠注意

- フロントカバーを開けるときには、排紙トレイ部とフロントカバー部に指などを挟まれないように注意してください。

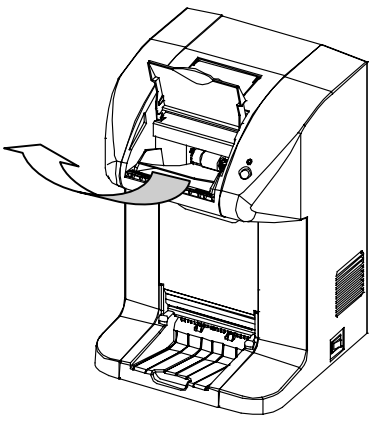


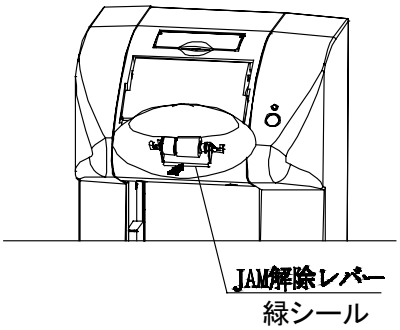
1

自動給紙ホッパー部に写真原稿の後端が残っていて、フロントカバーを開けた状態で、写真原稿が見えない場合。



- 原稿セット・カバーをオープンします。
- 右図の分離ローラーのニップ解除レバー（緑シール部）を押しながら写真原稿をホッパー側から引き抜きます。

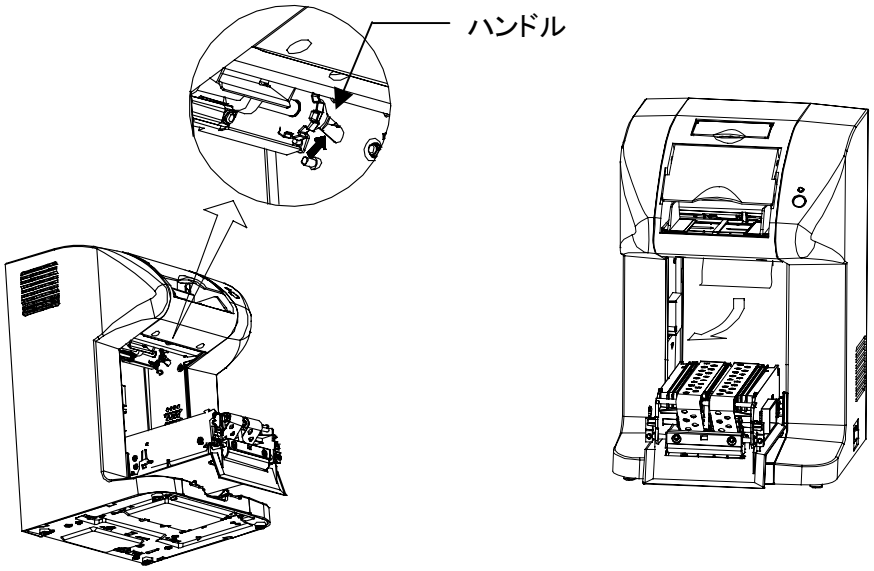




2

フロントカバーを開けた状態で、写真原稿が見える場合。

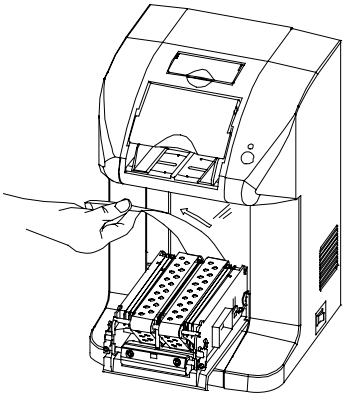
- 下図のように、ハンドルを回すと原稿が徐々に移動し下方向へ押し出されます。



3

写真原稿がガラス面上で停止している場合。

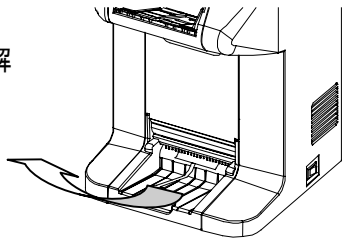
- 右図のようにガラス面に沿って原稿を手前に引き抜きます。



4

写真原稿が排紙トレイ上に出て停止している場合。

- 右図のように排紙トレイに沿って原稿を手前に慎重に引き抜きます。
- 原稿を取り除いた後、フロントカバーを一度開閉するとエラーが解除されます。



7.2　画像にモアレ（網目状の陰影）が生じる

取り込んだ画像にモアレが発生した場合は、以下の項目をご確認ください。

取り込み写真原稿に細かい網点状の処理が施されていませんか？

印刷物などスクリーン処理された原稿は、モアレが発生しやすい原稿です。これと同じように、写真原稿に細かい網点状の画像があると、同様にモアレが発生する場合があります。
モアレを完全になくすことはできませんが、次のいずれかの方法で少なくすることができます。

- 読み取り時の解像度（参照 「5.2-2-3　TWAINドライバの各機能について」）を300dpiに設定して、もう一度読み取ってください。
- アンシャープマスク（参照 「5.2-2-8　設定」）のチェックボックスを外してみてください。

7.3　エラーメッセージ

エラーが発生したときには、モニタ上にエラーメッセージが表示されるか、フォトスキャナ（NS-P1S/SU）のステータスランプがエラー状態によって点滅します。

！注意

- 同一のエラーが繰り返し発生する場合は、状態を確認して販売店までご連絡ください。

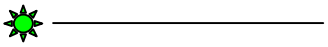
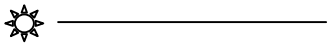
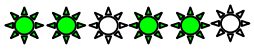
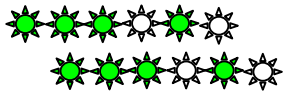
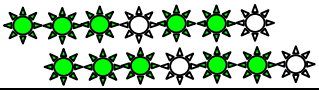
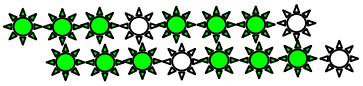
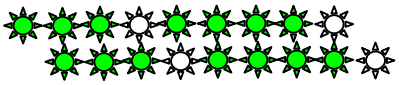
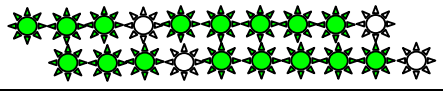
1

モニタ上のエラーメッセージと対策。

エラー表示	エラー内容	対策
スキャナが検出出来ませんでした。スキャナの接続を確認して下さい。	ドライバソフトがスキャナを認識出来ませんでした。	スキャナの電源は入っていますか？SCSI ケーブル又は USB ケーブルは正常に接続されていますか？
フロントカバーを閉じてください。	フロントカバーがオープンしています。	フロントカバーを「カチッ」と音がするまで閉めてください。
手差し口に写真をセットして下さい。	パノラマ写真読み取り実行時に写真がセットされていません。	5.3-2 の手順でパノラマ写真をセットしてください。
ホッパーに写真をセットして下さい。	ホッパー読み取り実行時に写真がセットされていません。	5.3-1 の手順で写真をセットしてください。
ホッパーと手差し口の両方に写真がセットされています。ホッパーの写真を取り除いてください。	パノラマ写真読み取り実行時に写真がホッパーと手差し口両方にセットされています。	両方の写真を取り除いて、再度パノラマ写真をセットして、読み取りを行ってください。
ホッパーと手差し口の両方に写真がセットされています。手差し口の写真を取り除いてください。	ホッパー読み取り実行時に写真がホッパーと手差し口両方にセットされています。	両方の写真を取り除いて、再度ホッパーに写真をセットして、読み取りを行ってください。
ミスフィードが発生しました。写真を一度抜いてからセットし直してください。	ホッパー部で給紙ミスが発生しました。	7.2-1,2 の手順で写真を取り除いて、再度ホッパーに写真をセットして、読み取りを行ってください。
ジャムが発生しました。フロントカバーを開けて写真を取り除いてください。	スキャナ内に写真がつまりました。	7.2-3,4 の手順で写真を取り除いて、再度読み取りを行ってください。
システムエラー。スキャナの電源を入れなおしてください。	キャリッジ・ホームポジションエラーまたは、イニシャルエラー	次頁のステータスランプ状態の6）～10）を参照してください。

2

フォトスキャナのステータスランプの点滅と対策。

ステータスランプ状態	メッセージ	対策
1） 短い間隔の連続点滅	イニシャル動作中	正常
2）点灯 	待機中	正常
3） 消灯 	電源 OFF または フロントカバーオープン状態 または USB 接続状態で、PC の電源が OFF	電源を ON または フロントカバーを閉じる または PC の電源を ON にしてください。
4） 2回点滅 	写真原稿搬送異常エラー （原稿詰まり）	写真原稿を取り除いて、フロントカバーを開・閉してください。 再度読み取りを行ってください。
5） 3回点滅＋1回点滅 	キャリッジ ホームポジションエラー	輸送用固定レバーを解除して、フロントカバーを開・閉してください。 それでもエラーが発生する場合は、販売店にご連絡ください。
6） 3回点滅＋2回点滅 	イニシャル動作エラー	販売店にご連絡ください。
7） 3回点滅＋3回点滅 		
8） 3回点滅＋4回点滅 		
9） 3回点滅＋5回点滅 		

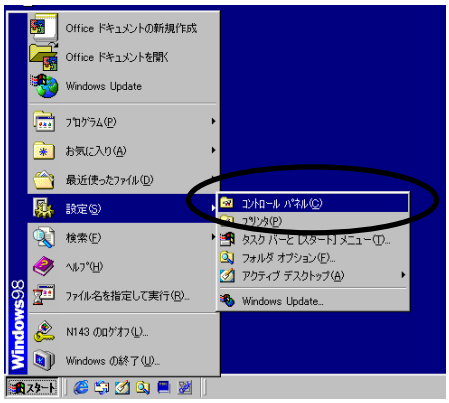
8 付録

アンインストールのしかた

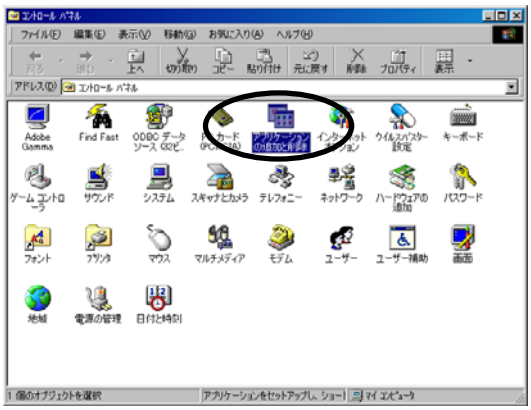
本ドライバソフトのアンインストールのしかたについて説明します。Windows 98 の例です。

1 すべてのプログラムが終了していることを確認します。

2 「スタート」メニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックします。

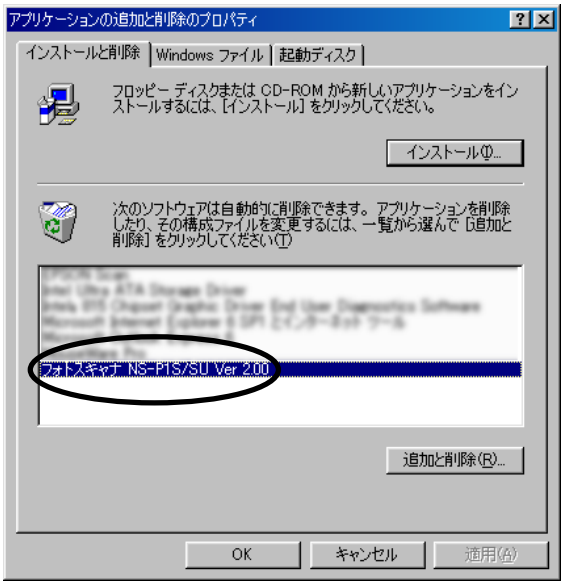


3 「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。



4 ソフトウェア一覧から「フォトスキャナ NS-P1S/SU Ver ＊.＊＊」をクリックし、「変更と削除」をクリックします。

確認のメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。



保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お客様欄」「販売店様欄」に記載漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い上げいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。
保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

保守サービスについて

付属の「お客様ご相談窓口」又は販売店にお問い合わせください。

修理用部品の保有期間

本装置の機能を維持するために必要な部品は、原則として製造打ち切り後5年間保有しますので、この期間は修理が可能です。また、この期間を過ぎた場合でも修理が可能なことがありますので、お買い上げの販売店までご相談ください。

ドライバソフトウェアに関する最新情報のダウンロードについて

次のホームページ上で、本装置の最新ドライバソフトウェアをダウンロードすることができます。
http://www.nisca.co.jp